

広報 やまと



飛べるかな

11月8日に行われたやまとふれあいまつり。当日は、延べ5千人が訪れました。特設ステージにおいて健康家庭および虫歯のない3歳児の表彰や、ふるさと太鼓による太鼓ショー、ギンガマンショー、猿の演芸、そして日野美歌ショーなどたくさんのステージが用意されました。ほかにもハンググライダー・パラグライダーのデモフライトや無料体験フライト、さらに有料でヘリコプター遊覧飛行も催されました。

(会場の様子はP.4、P.5に掲載)

1998

12

NO. 522

介護保険制度

高齢社会を支える介護保険

まもなく迎える21世紀。高齢社会を支え合う新たな制度として介護保険がスタートします。

制度のしくみなどについて広報2月号でお知らせしましたが、今年度に入って、町の介護保険事業計画の基礎資料となるアンケート調査が、みなさんの協力をいただいて実施されました。

さらに、現在モデル事業によって、制度発足後スムーズに運営ができるように、介護保険の認定を受けるための申請、調査判定そして、サービス提供までの事務手続きが試行的に行われているところです。

今回は、みなさんがいちばん気になる保険料の負担や、介護保険で利用できるサービスの種類、また申請や判定、サービスを受けるまでの順序などをお知らせします。

■介護保険制度が始まるのは？

平成12年4月1日からです。制度のスタートに向けて申請受付から介護サービスの提供まで、一連の手続きをスムーズにすすめるために、現在モデル事業を行っています。

■運営主体は？

町が運営主体（保険者）となってすすめます。

■納める保険料は？

第1号被保険者の保険料

65歳以上の方（第1号被保険者）は、国で定める基準に従い、町が条例で保険料率を定め、保険料額を決めます。保険料率は3年ごとに見直されます。また、所得に応じて5段階に設定されます。

下表の保険料は、基準額を2,500円として、算定した見込み額です。

◆徴収方法

老齢基礎年金等の額が一定額（月額30,000円程度）を越える方は、年金から天引きとなります。

無年金および年金が一定額（月額30,000円程度）以下の方は個別に納めます。

●65歳以上の方の保険料見込み額

対象者	保険料
老齢福祉年金・生活保護受給者	基準額2,500円の場合×0.5=1,250円
住民税非課税世帯に属する者	" ×0.7=1,875円
住民税非課税の者（本人）	" ×1.0=2,500円
住民税課税者のうち所得が一定額未満の者	" ×1.25=3,125円
住民税課税者のうち所得が一定額以上の者	" ×1.5=3,750円



介護教室では介護保険の説明がありましたが、みなさん気になるのは、保険料負担がどのくらいかということ

■対象者となるのは？

40歳以上のすべての方が加入し、保険料を納めることになります。

第2号被保険者の保険料

40歳以上65歳未満の方（第2号被保険者）は加入している医療保険の算定ルールに基づいて決まります。

下表により、介護保険料率を15/1,000と仮定して、報酬月額が20万円ある場合の保険料は月額3,000円になりますが、事業主が半額を負担しますので個人負担は1,500円になります。

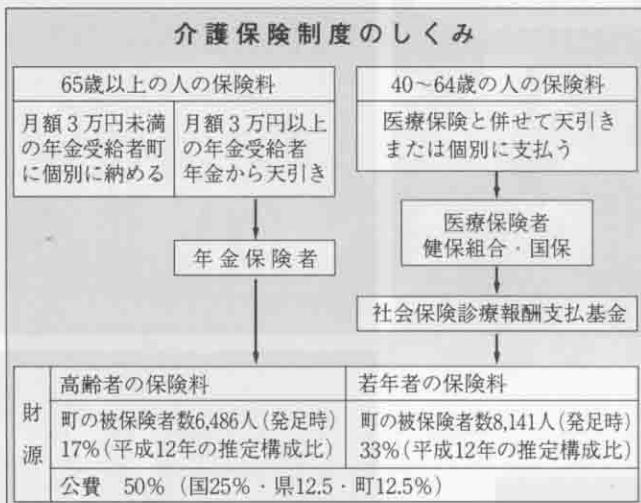
◆徴収方法

医療保険と介護保険料をあわせ、一括して納めることになります。

●40～65歳未満の方の保険料の算定方法

	医療保険	国民健康保険
介護保険料	標準報酬月額 ×介護保険料率	世帯平均割+均等割+ 所得割+資産割
負担割合	事業主が半額負担	国が半額負担

※標準報酬月額は、被保険者の報酬月額（給与や手当等の合計）によって段階的に決まっています。



介護認定審査会 新治地方広域事務組合に設置し、各町村からあげられた申請について、一次判定の結果と医師の意見書をもとに審査を行います。モデル事業による審査会は、医療、保健、福祉関係者から選ばれた委員が郡内の100件の申請について審査を行いました。

介護保険で受けられるサービスの種類

	在宅サービス	施設サービス
要介護者	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問介護(ホームヘルプ) ●訪問入浴介護 ●訪問リハビリテーション ●日帰りリハビリテーション ●居宅療養管理指導 (かかりつけ医による医学的管理など) ●日帰り介護(デイサービス) ●短期入所生活介護(ショートステイ) ●短期入所療養介護(ショートステイ) ●痴呆対応型共同生活介護 (痴呆性老人グループホーム) ●有料老人ホーム等における介護 ●福祉用具の貸与・購入費の支給 ●住宅改修費の支給 (手すり、段差の解消など) 	<ul style="list-style-type: none"> ●介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) ●介護老人保健施設 (老人保健施設) ●介護療養型医療施設 <ul style="list-style-type: none"> ・療養型病床群 ・老人性痴呆疾患療養病棟 ・介護力強化病院 (施行後3年間)
要支援者	<ul style="list-style-type: none"> ●同上 (痴呆老人のグループホーム除く) 	<ul style="list-style-type: none"> ●要支援者は施設入所はできません

介護保険でサービスを受けるまで

本人・家族が町へ申請

訪問調査

コンピューターによる
一次判定

主治医の
意見書

介護認定審査会

二次判定 要支援・要介護
(I~V)の6段階の程度
を判定します。

◆6段階の判定ランク

区分	状態	支給限度額
要支援	食事、排せつ、着脱等おおむね自立、生活管理能力低下のため、ときどき支援を要する。	6万円程度
要介護Ⅰ	食事、排せつ、着脱等おおむね自立しているが、一部介助、支援を要する。	14~16万円程度
要介護Ⅱ	食事、着脱はなんとか自分でできるが、排せつは介護者から一部の介助を要する。	17~18万円程度
要介護Ⅲ	食事、排せつ、着脱のいずれにも介護者的一部介助を必要とする。	21~27万円程度
要介護Ⅳ	重度の痴呆症状を伴って、食事や排せつ、着脱に介護者の全面的な介助を要する。	23万円程度
要介護Ⅴ	寝返りをうつことができない寝たきりの状態で、全面的な介助を必要とする。	23~29万円程度

額は平成7年度価格により算定

町が認定

介護サービス計画作成

本人の希望を尊重しながら依頼された介護支援専門員(ケアマネージャー)が認定されたランクの限度額に応じて各種サービス(左表)を組み合わせて計画を作成します。本人が作成することもできます。



利用者は一割を自己負担

認定された方は介護サービス計画のもとに各種サービスを受けることができます。



つり PHOTO





第9回

八郷ふれあいま

十一月八日、第九回八郷ふれあいまつりが役場
駐車場を会場に行われました。
当日は雲ひとつない晴天で、二十六の団体が参
加し、延べ五千人が来場し、終日会場はたくさん
の人で賑わっていました。その様子を写真で一部
ご紹介します。

作文コンクール入賞作品

活動を通して考えた温もりのある町づくり、素直な気持ちをつづった中学生お二人の作文がみごとに入賞しました。作文を紹介します。

茨城県知事賞受賞作品



皆川一希さん(園部中3年)

心と心の

通いあう町で

園部中学校三年 皆川一希

「自分たちの体育祭を、もつともっと地域に開かれた体育祭にすることはでき

ないだろうか」
先生が、ぼくたちにこう投げかけました。ぼくたち園部中では、体育祭を地域の人々にも楽しんでもらおうと毎年、いろいろな試みを重ねています。

そこで、今年持ち上がったのは、地域のお年寄り一人ひとりに心を込めて招待状を書き、それを手渡そうという計画です。招待状には学校の様子や、自分たちの近況なども入れることにしました。

この計画は、園中インフォメーション委員会を中心進められました。全校生徒に呼びかけ、手紙を回収し、地域ごとに分かれて、配達の分担を決めました。地区ごとの名簿を見ながら「この人はA

君のおじいちゃんだ」とか「B君の家のとなりには、一人暮らしのおばあさんがいる」とか情報を集めながら分担をしていました。

突然、見知らぬ中学生が訪ねていつた
ら、お年寄りがびっくりするのではないかという不安もありましたが、きちんと心をこめて、説明すれば、ぼくたちの気持ちちはちゃんと伝わり、きっと喜んでもらえるはずだと思いました。ぼく自身も、四人のお年寄りの方に手紙を届けに行きました。小学校のころは、学校の帰りなどに声をかけてからは、部活などで忙しくほとんど顔を会わせたことのないひとばかりです。だいじょうぶかなと少し不安もありました。

けれども、訪ねていって手紙を手渡すと、どの方も、本当にうれしそうに受けとってくれました。そして、「ああ、しばらくみないうちに、ずいぶん大きくなったね」とか、「体育祭、楽しみにして、ぜひ見に行きますよ」などとうれしそうに話してくださいました。

ぼくたちの町でも、ここ数年の間に立派な建物や運動公園などが次々と整備されました。お年寄りのための施設も作られました。確かにそれは大切なことです。けれども、そこに住む町の人たちの心がともなわなければ、それは生きてきません。人と人とのあたたかい触れ合

いが続く町。それが、これからぼくたちの目指す町だとこの取り組みを通し考えました。ぼくたちの取り組みは、ほんの小さなことかもしれません。けれどもそれが積み重なって、やがて町全体に広がっていくことが自分たちの目指す町の第一歩だと思います。

ある日学校に一通の手紙が届きました。「自分は九十三歳の老人です。体が不由でせっかく御招待いただいたのに体育祭に行くことができません。でも、あなたの方の体育祭の成功を祈っています」

ぼくたちの心は、地域の人たちの心に届いたのです。



地域のお年寄りを招待して開催された園部中体育祭

第9回 ダイナミックいばらき

茨城県議会議長賞受賞作品



真原亜由美さん(園部中2年)

それは小さなゴミだけど

園部中学校2年 真原亜由美

ある日のこと、わたしは駅前で思いがけない場面に出くわしました。ランドセルを背負った男の子たちが、何と、タバコの吸いがらやゴミを一つ一つ拾つては袋に入れていたのです。

わたしは「えらい！」と声が出そうになりましたが、その反面怒りが込み上げてきました。一体、どんな気持ちで捨てたのだろう。それに、なぜ子どもたちが吸いがらを捨てなければならないのだろう。タバコを吸うのは大人ではないか。そうしているうち、男の子たちのだから、「もうかえるよ」と言いました。すると、ある男の子は、「おれ、もうちょっとやつてから帰る」とだけ答え、吸いがらやゴミを一生懸命拾い続けていたのです。

わたしも、子供会や生徒会活動の一環でゴミ拾いをしたことがあります。だから、わたしはその男の子の気持ちがわかるような気がしました。そついえば、今日も通学路にお菓子の袋やジュースの缶などが落ちていたつけ。公園にはちゃんとゴミ箱があつたのに、そこらじゅうにゴミが散らかっていることがあつたつけ。わたしは悔しい思いでいっぱいになりました。公共の場である駅に、子どもたちが学校へ向かう道に、そして子どもが遊ぶ公園にまでゴミを捨てる人がいます。その一方でこうして帰り道にゴミを拾う子どもたちがいるのです。平気でゴミをそこらへんに捨てる人がいるからいつまでたつてもゴミ拾いは終わりません。道路や公園は灰皿でもゴミ箱でもありません。人の生活する場所なのです。

納得がいかないまま、わたしは体育祭を迎えるました。わたしたちの学校の体育祭は地域のお年寄りに手書きの招待状を送つたり、アルミ缶で作ったオブジェを展示したりするという活動があり、毎年とてもさわやかです。そのため、競技もとても盛り上がりります。だから今年も一週間以上かけて草をとり、当日の朝、竹ぼうきで枯れ草もきれいに掃きました。さて、体育祭の片づけも終わり、帰ろうとした時、わたしははつと気がつきました。お客様の帰った後の駐車場には、ゴミ一つ落ちていなかつたのです。グランドも同じでした。

人権作文コンテスト県大会で

高栄さん(園部中)優秀特別賞に

「全国中学生人権作文コンテスト」土浦地区大会において、

高栄優子さん(3年)

園部中学校3年高栄優子さんの作品「神様がくれた休日」が、応募のあつた一、四三七作品の中から最優秀賞に選ばれました。また土浦地区大会の入賞作品は、茨城県の大会に推薦され、高栄さんの作品はみごとに優秀特別賞に輝きました。この賞は最優秀賞に次ぐ



高栄優子さん(3年)

人権作文コンテスト県大会で

高栄さん(園部中)優秀特別賞に

「全国中学生人権作文コンテスト」土浦地区大会において、

園部中学校3年高栄優子さんの作品「神様がくれた休日」が、応募のあつた一、四三七作品の中から最優秀賞に選ばれました。また土

わたしはなるほどそつかと思いました。あの男の子のやつていたことはむだではなかった。あの姿は軽い気持ちで吸いがらを捨てる人の心にブレーキをかけるはずだ。わたしたちが学校を、そして地域をきれいにしようとする心で行動すれば、ゴミを捨てられることはないので。ゴミ箱があるとかないとかいう問題ではなく、それは小さなゴミだけど、他の人も捨てるているんだからいや、という気持ちにさせてしまう、それは大きなゴミだつたのです。

わたしは、あの男の子に今の気持ちを伝えたい。「だいじょうぶ。きっとこの町はきれいになる。わたしたちといつしょにがんばろうね」

公民館まつり



多彩な催しで観客を魅了

ことで十六回をむかえた公民館まつり。中央公民館を会場に、十二月五日と六日の二日間にわたり行われました。

同まつりは、公民館講座や同好会で学んだ一年間の成果を発表するもので、入れ替わり立ち替わり人が来館し、会場は両日とも賑わいをみせていました。

期間中は講座室において、水墨画、洋画の基礎、絵てがみ、野鳥に親しむ、葛工芸、園芸、フラワ

ー、アレンジ、指人形、子どもの本の講座からの発表と、同好会からは、水墨画、陶芸、パッチワーク、皮革工芸、木目込み人形、パンの花、七宝焼き、読書会、俳句、手編み、エアロビクス、手作り人形の発表、そして地区の婦人学級からの作品展示がそれぞれあります。どれをみても力作ぞろい。年

間を通しての創作活動の意気込みが感じられ、観る人たちは、作品

を前にじっくり見入っていました。初日の五日には、映画「ノートルダムの鐘」が上映され、およそ七百人が入館しました。

六日は、午前中に中央公民館大講堂において大正琴、少年少女合唱団、少年少女合唱団、コール有明、ギターリー、オカリナ、太極拳、社交ダンスのステージ発表があり、それぞれが日ごろの練習成果を発揮していました。その中でもギ

ターは、ことしの七月に講座を始めたばかりで、観客の皆さんとギターを伴奏に「今日の日はさようなら」を歌うなど会場はさらに盛り上りました。

また午後からは「おもいつきりテレビ」でおなじみの松原英多先生を講師にむかえ、「知っているようで知らない健康の常識」と題した文化講演会が開かれ、会場の皆さんは熱心に話に聞き入っていました。

ロビーでは、体験コーナー、チヤリティバザーが開かれ、体験コーナーでは、竹細工講座の講師の指導を受けながら、訪れた人たちは竹とんぼなどを作り、公民館の外で出来上がった竹とんぼを飛ばしている親子の姿が見られました。一方、折り紙を折るコーナーでは子どもたちに手にとっていろいろ作ってもらうことを目的として行われました。最初は子どもたちも難しそうな表情をしていましたが、作ってもらうことの目的として行なわれました。最初は子どもたちもやつと出来上がり、手をたたいて喜んでいました。また、指人形講座からは人形劇が行われ、来館した親子連れが足を止めていました。チヤリティバザーでは、午前か



ら古本市が開かれ、皆さんから寄贈された古本を十円と五十円に分けて販売しました。午後からは講座生、同好会生の作品バザーが開かれ、あれよあれよと言つ間に完売してしまいました。そのほかに、毎年好評のヘルスマイトさんによる、まぜご飯や豚汁、甘酒の販売があり、来館者はくつろぎのひとときを過ごしていました。

ことしも大反響を呼んだ公民館まつり、それぞれにすばらしい作品・ステージ発表でした。生涯学習の中心的役割を担っている公民館ではさまざまな学習活動をおこなっています。皆さんも趣味づくりや仲間づくり、そして生きがいづくりにぜひ公民館をご利用ください。

貴重な体験をありがとう

平成十年度茨城県青年の船事業
が十月二十五日から十一月三日まで
の十日間、中国上海等を訪問地
として実施されました。

この事業は、明日の茨城を担う
青年を海外に派遣し、研修を通して
地域社会づくりの担い手として、
広い視野に立った青少年活動を進
めるリーダーの養成を目的として
われたものです。
全体で四百十八人が参加し、わ
が八郷町でも三人が参加しました。
次に紹介するのは研修を終えた
三人からの感謝のお手紙です。



▲青年の船に参加された三人

この度、茨城県青年の船に参加
し、予定どおりの日程を完了して
無事帰ることができました。
町当局の皆様にはたくさんご
支援を頂き本当にありがとうございました。

思えば、初めはこの船に参加す
ることはあまり気が進まなかつた
のですが、今になつてみると大変
良かったと思っております。

十月二十五日に快晴の大洗港を
たくさんの人たちに見送られて出
発し、そして十一月三日、また快

晴の大洗港に着く

までの十日間、短
い十日間ではあり

ましたが、この十
日間はわたしたち
の心にいろいろな
知識を与えてくださ
いました。

アジアの大國、中

国の大さを見、
県内各地のいろい
ろな人たちとの出
会いの中で今まで
なかつたよくな感
激がありました。

楽しさがありまし



茨城県青年の船ふじ丸

本岡 敏明
橋本 美幸
羽生 恵子

◆剪定
一月下旬から二月中旬頃がよ
く、早すぎると芽の動きが早ま
り、寒さの害を受けやすいので
注意する。

行きたいと思っております。本當
にありがとうございました。

胸に、学業に、仕事に精を出して
いた。苦しさがありました。笑いが
ありました。本当に貴重な体験を
得る機会を貰えてくださったこと
に心から感謝を申しあげます。

わたしたちのこれから的人生に
とってこれらの体験は、いろいろ
な面で大きな役に立ってくれるよ
うな気がします。わたしたちはこ
れからも今まで以上にこの体験を

一生以上の株なら一株に堆肥十五
リットルと、骨粉、油粕、ヨウ
リンそれぞれ二百グラムを掘り
上げた土と混ぜて埋め戻す。

◆病害虫防除
前号で越冬病害虫の防除につ
いて述べたが、バラでは黒星病、
灰色かび病、うどん粉病などの
病害と、ダニ、カイガラムシな

どが越冬しているので剪定後は
発芽前までに、石灰硫黄合剤十
倍液を二週間おいて二回散布す

る。

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク
園芸教室
バラの冬季管理
元肥・剪定・防除



わたしの手料理

さばの一口

カレー揚げ



食生活改善推進員 大場品子（佐久）

【材料】(4人分)

★さば	4切れ	カレー粉	小さじ2
★小麦粉	適宜	塩	小さじ $\frac{2}{3}$
★油	適宜	こしょう	小さじ $\frac{1}{2}$
★キャベツ	大3枚	すりおろしにんにく	小さじ $\frac{1}{2}$
★レモン	適宜	油	小さじ1
A		B 塩・こしょう	各少々
		カレー粉	少々

【作り方】

①さばは骨を除き、一口大のそぎ切りにし、ポールに入れAを加えて軽くもみ込み10分ほど下味をつける。

②①に小麦粉をまぶし、余分な粉はおとす。

③フライパンに油を1~2cmの深さまで入れ、中火で熱し、さばを入れて揚げ焼きにする。両面がカリッとしてきつね色になったら、取り出して油をよく切る。

④キャベツは大きくざく切りにし、ボリ袋に入れて電子レンジで3分加熱する。袋の中にBを加え、袋を軽くもみ味を付ける。

⑤器に④のキャベツを敷き③を盛り、レモンを添えて出来上がり。

わが家のアイドル

弓弦

関 春香ちゃん

父 勝之さん 母 貴子さん

平成7年4月6日生まれ

♥家族からの一言

特技はかけあしという、とても活発な女の子です。いつも、ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんと一緒にいます。ママと一緒にお買い物をするときは大好きなフライドポテトをおねだりします。

素直な優しい女の子になつてね。



岩谷古墳周辺地形図

八郷の地名 ⑨ 岩谷（いわや・青田地区）

大字瓦谷（カワラヤ）の地名の「谷」は、鎌倉時代のころまでは「屋」の漢字を充てていたようである。そのルーツをたどると、奈良時代に常陸国府に設営をみた国分僧寺・尼寺などの官寺造営のため、瓦類を生産して供給する官営の窯業場が設置されたことにはじまる。当時、瓦製造の作業場（アトリエ）を「瓦屋・がおく」と呼ばれていたことが正しい名称として文献にも散見することから、八郷の瓦谷もまた、瓦屋に由来する地名といえるのである。

さて、青田地区の東端域に位置して「岩谷」と呼ばれる公称字名がある。この地内で眼下に大型農道が見下ろされる台地縁部の近くに横穴式石室を埋葬主体部とする径10mほどを測る円墳が現存する。この円墳は字名を冠して「岩谷古墳」と呼ばれている。古墳の石室の名称については、明治・大正期のころの郷土史家によつて著された文献に「岩屋（イ

ワヤ）」・「石室（イシムロ）」・「岩窟（カニクツ）」・「石窟（セツクツ）」などとして扱われている例の多いことから、青田地区の岩谷の「谷」もまた瓦谷と同様に、かなり遡る古い時期には「屋」を充てていたことが推測される。同時に石室の一般的呼称とみられる「いわや」、つまり堅固な石材に囲まれる室というのが地名発祥の直接的要因と思われるが、古代社会における貴人の死を「岩隠れ」ともいわれていた意味との関連で、「岩谷」もまた神聖視されていた光景とする想像も許されよう。この石室が確認された時期については定かでない。しかし、南に開口する横穴式石室が極めて良好な状態で保存されてきたのは、ほかならぬ弘法大師の徳行に畏敬の念を寄せる講中の人々によつて奉納されたのを測る円墳が現存する。この円墳は字名を冠して「岩谷古墳」と呼ばれている。古墳の石室の中には、薄暗い石室の中に整然と並置される光景には異様な雰囲気さえ感じられるが、近世に移行して

珍しい複式構造の大型横穴式石室として注目されている。その構造面に加え加工技法などの特徴から指摘される点は、律令期初頭のころに仏教文化と共存の可能性が求められる七世紀後半の古墳時代終焉期を象徴する貴重な文化遺産といえるのである。

町文化財保護審議会委員 西宮一男

イ
ラ
ス
ト



P.N. BABY



P.N. Utana



部原 染谷和夫



P.N. Reiji



柿岡 鈴木沙有理

（シルバーの交流の場を）

私 も残るところあと二年で定年をむかえます。途中で八郷町に転入したので、町全体のシルバーの交流の場があれば参加したいのですが。

◆ 中央公民館の「公民館講座」を利用してみてはいかがでしょうか。シルバーのみを対象としているものではありませんが、来年度も本年度同様、五月中旬以降に年間を通して公民館講座の受講生を募集する予定です。ただ定員が二十名前後ですので、中には募集の初日でいっぱいになってしまふ講座もあるのが現状です。また、それぞれの講座で長期的にやりたい方がつくつ

「私も
ひとこと

た同好会もありますので、参加してください。
（本の世界つていいですよ）

秋 の夜長、皆さんはどのようにお過ごですか。私は多趣味なのでいろいろやっていますが、最近は読書ばかりですね。子どもが寝静まつた後に意欲的にもくもくと読んでいます。本を探してどんどん読んでみてください。一生のうちに読める本の数は限ります。一生のうちに読める本の数は限ります。

り読むほうじゃないのですが、心に残る本は何冊かあります。本からはたくさん影響を受けますね。

ある読書が大好きな方が言っています。「死ぬまでに一冊でも多くの本を読みたい、少しの暇も惜しんで読書し、著者のすぐれた知性を学びたい」皆さんは心の中に残る本はありますか。ぜひ教えてください。

◆ 今は、本ばなれの世の中と言われています。ちなみにわたしも本はあまりません。

八 郷町にも、空き缶回収機を設置してはどうでしょうか。毎日のように烟の中に空き缶が捨てられています。気がついて拾っては片付けていますが、一向になくなりません。

山崎 木村日出男

◆ 中央公民館の「公民館講座」を利用してみてはいかがでしょうか。シルバーのみを対象としているものではありませんが、来年度も本年度同様、五

ひくみの
広場

評 効独立書人団審査会員翠嵐書院 関 翠邱

林小一年 萩原夏子

芦穂小四年 鈴木聰子

習字コトナリ

一年 萩原夏子

ほね

芦穂小四年 鈴木聰子

完成

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 129

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①平成12年4月に始まる介護保険
で保険料を納めるのは何歳以上?

- (A) 20歳
- (B) 40歳
- (C) 60歳

②介護保険制度では介護認定審査会で介護の程度が判定されますが
何段階に分かれますか?

- (A) 10段階 (B) 3段階 (C) 6段階
- ③11月29日に開催された八郷駅伝競走大会には何チーム参加しましたか。

- (A) 37チーム (B) 29チーム (C) 33チーム

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ129と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏名、
年齢、世帯主と「私もひとこと」
へのご意見や広報の感想などを書いて送ってください。イラストや
マンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図書券をプレゼントします。

☆締切日 平成10年1月21日

☆応募先 〒315-0195 八郷町柿岡5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙2月号

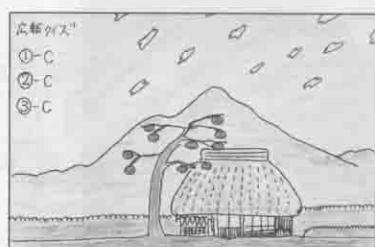
【広報クイズ127の当選者の発表】

正解は1-C、2-C、3-Cでした。
応募総数45通、正解44通の中から
次の10人が当選しました。

安達正子(宇治会) 奥村友香(山崎)
小貫さた(柿岡) 小池勇(柿岡)
桜井洋子(山崎) 鈴木かつ江
(小山田) 関きみ子(柿岡) 高橋
希(大増) 萩原志づ(月岡) 長谷
川和夫(大増) [敬称略]



中戸 吉田佑子



柿岡 永瀬三男



小倉 中嶋きよ子

●やさと文芸

唄う船頭素敵な声がしみる紅葉の最上川
妻の支えと努力が実り監授褒章身の誉れ
宇宙開発スペースシャトル使命果して戻る笑み
下林 小野瀬 午風

一陣の風に黄落ひとしきり
束の間の日差しまぶしく柿赤し
虫の声のとぎれついよいよ細りたる柿岡
下林 白井 富喜江

俳 句 綿引鼓峰選
山崎 鈴木君江
山崎 小島せん江
山崎 小池勇
山崎 荒井幸子

短歌 吉田次郎選
山崎 小松みき

山裾の木立の中の山桜の日和に返り花咲く
一人ショーエン出ばかり歌うなり九段の母や伊豆の山山

チューリップ百合水仙と植え終えし庭は来春をひたぶるに待つ
長谷川 雅吾



昭和二十八年当時、八郷高校において耕うん機の出張試験が行われ、女性四十名を含む総勢三百六十二名もの受験者が一同に集まりました。

まちの話題できごと

身近な出来事や地元の話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課内線一三四三)

ありがとうございます

生演奏で自慢の歌も

十一月二十六日、県警音楽隊のメンバ
一二十七人が特別養護老人ホームやさと
を訪れ、慰問演奏会が開かれました。

「双頭の鷲の旗の下に」や民謡八木節、
「いつでも夢を」や「新潟ブルース」の
歌謡曲メドレーなど数多いレパートリー
の中から選んだ曲目で、みことな演奏を
披露しました。

迫力ある演奏にしばし聞き入り、曲が終
わるたびに盛んな拍手を送っていました。
また、民謡などのりのよい曲には、タ
ンパリンや手拍子で調子をとりながらと
ても楽しそうでした。生の演奏に合わせ
て歌えるリクエストコーナーなどもあり、
「奥飛騨慕情」や「川の流れのように」
「さざんかの宿」など、日ごろから歌い
込んだ曲で自慢のものが披露されました。



くす玉ひとすじ16年

鬼澤松枝さん(89)がこのほど社団法人日本善行会から社会福祉の部で成人善行表彰を受けました。

鬼澤さんは、ミニくす玉三百個を毎年八月八日に町社会福祉協議会を通し、敬老の日に九十歳以上のお年寄りと、米寿(八十八歳)を迎えたお年寄りにそれぞれ

い房をつけたミニくす玉を作りあげています。根気のいる作業で、一日に一個しかつくることができないそうです。年間には六百個を仕上げており、お年寄りの間では敬老の祝いの一品としてとても喜ばれています。

表彰を受けた鬼澤さんは「このような素晴らしい賞をいただき、涙がでるほどうれしいです。これからも皆さんの幸せを願いながら命あるかぎりくす玉ひとつに作り続けていきたいと思います」と受賞の喜びとこれから抱負を語ってくれました。

- 町社会福祉協議会へ社会福祉充実の為三万円 小幡塚谷幸雄
- 町社会福祉協議会へ一円玉募金として三四二四円
- 恋瀬ほしのみや幼稚園父母の会
- 町社会福祉協議会へふれあいまつリストラックアウトの益金四四〇〇円
- ふれあいまつり運営委員会
- 訂正 十一月号の広報クイズ(P13)における広報クイズ128の当選者の発表は本紙一月号の誤りでした。訂正するとともに深くお詫びいたします。

花いっぱい咲きました



十一月十二日、茨城県総合福祉会館においてダイナミックいばらき運動の表彰式があり、第二十六回花と緑の環境美化コンクール、団体、職場の部で八郷町園部第三百寿会がダイナミックいばらき協会長賞を受賞しました。

同百寿会では毎年、園部地区コミュニティセンターの広場を利用し、見事な花を咲かせています。ことは、サルビアやマリーゴールド、アゲラダムなどの花

を咲かせよう種を購入して苗づくりから手がけ、植えつけました。みんなで手をとりあい、除草や夏場の猛暑の中、水まきを交替で行いました。その努力が実り立派な花を咲かせることができました。こうした行いが評価され今回も受賞にいたったようです。

受賞された皆さんは「これからも広く地域の方々に楽しんで頂きたい」と語ってくださいました。

八郷の特産「富有柿」を献上

皇室に献上する柿が十二月十六日、役場会議室において箱詰めされました。

献上する柿は小幡の上田忠さん、中村

善一さん、岡本忠さん、吉生の本岡利男さんら四人の丹精こめて作った富有柿でした。

心配されましたのが収穫された柿はきれいな橙黄色で、つやもよく、糖度も平年並みでした。

一箱二十四個入りの木箱四箱に、色々形がそろった柿を詰めて、十二月十七日に八郷町柿振興協議会によって宮内庁まで届けられました。

珍しい手作りの品立ちならぶ

やさとクラフトフェアが十二月二十二日と二十三日の二日間にわたり大増多目的センター前と、ハンググライダー着陸場を会場に開催されました。

この催しは作家・職人の手作りのおまつりで、当日は陶器・彫金・木工品・地場野菜などのお店が軒を並べ、賑わいを

みせていました。また、バンドによる演奏や二十三日には大増の香取神社境内での子ども奉納相撲がとり行なわれました。

ほかにもクラフトフェアと同時開催の板敷山オータムフライイトが催され、百機のハンググライダーが板敷山から飛び立つた。大空での競演が行われました。



一九九八年も終わろうとしている。さて、今年を振り返ってみるとけつこうドラマがありました。開催前に問題はありました。長野オリンピックもいくつか感動の場面を残しました。なんといっても「立つてくれ原田」の声を背に、限界まで距離を延ばしたジャンプの原田選手、優勝インタビューの一ときの「涙」は感動的でした。

「変人・凡人・軍人」と評した言葉が名言として残ったある政黨の総裁選、名言の主はかつてブルドーザといわれ日本を改造しようとした方の娘さん、なるほどこの人にしか言えない痛烈な言葉。

ところで、幕末、明治維新の時代を背景に、茨城にゆかりの最後の將軍「徳川慶喜」を描いた大河ドラマが終わりました。明治への夜明け前、命をかけて時代の幕引きや舞台回しに活躍した人物たちは、それぞれがドラマになる生き方でした。さて今の世に、傑物が登場し、混沌する時代に幕を引き、新しい日本の夜明けをめざして活躍する、ドラマのような話を望むのは無理でしょうかね。来年「卯」年の飛躍に期待だつちゅう。(市)

編集室

八郷駅伝競走大会

見事なチームワークに声援とびかう

第十二回八郷駅伝競走大会が十一月二十九日に開催されました。

三十三チームが一同に集まり、初冬の肌寒いなか中央公民館を出発点としスタートしました。

コースは男子が太田善光寺入口、下青柳入口を折り返し点とする三十・六キロ、女子が下青柳を折り返し点とする十七・六キロをそれぞれ八区間で走りぬきました。



▲最初にテープを切った八郷ランナーズの
アンカー谷田部さん

大会の結果・記録

一般男子の部

秒④柿中ランナーズ2時間4分7秒⑤有明中2時間5分38秒⑥柿岡中A2時間11分05秒

中学生女子の部

①八郷南中A（嶋田聰美・鬼澤美穂・馬場正美・長谷川小春・生井淑子・松庭幸恵・大貫菜穂子・今泉茜）1時間13分14秒②園部中A-1時間13分15秒③柿岡中B-1時間17分31秒④柿岡中D-1時間18分3秒⑤柿岡中A-1時間19分55秒⑥有

中学生男子の部

①八郷南中A（酒井亮・飯田直人）
小松崎頼行・長谷川慎・高橋克之
木村裕治・嶋田雄一・栗崎貴志
1時間53分17秒②園部中A 1時間
54分25秒③園部中E 2時間3分49

区間新記録

〔一般男子の部〕

一郎(八郷ランナーズ) 16分45秒
七区 (3・28キロ) 杉山徹(八
郷ランナーズ) 12分14秒

三区(5・4キロ)細川孝之(園)

七区(3・28キロ)鳴田雄一(八
都南14-2今1少-音1-音

(園部中A) 13分6秒

(中部園) 11 分 6 秒

敬略